

## 第3回総合計画審議会(交流分科会)意見及びその対応

## 【凡例】

## ○関連部分の章

章	分類
全	計画全般
は	はじめに
1	第1章 社会経済環境の変化と横須賀の基礎的な課題
2	第2章 計画の条件
3	第3章 重点プログラム
4	第4章 まちづくり政策
5	第5章 まちづくりの推進姿勢

## ○対応分類の番号

No.	分類
1	意見を踏まえ施策等を修正するもの
2	意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの
3	参考意見と捉えるもの
4	策定手法に関するもの
5	質問事項と捉えるもの

No.	発言者	意見 内 容	関連部分				対応分類	考 え 方
			章	大柱	中柱	小柱		
1	永田委員	横須賀市のホームページは、文字の拡大と音声による読み上げなどの情報がわかりやすいところがない。トップページから暮らしの場面に対応した情報に一発でアクセスできない。トップページにはアピールできる自慢の風景を掲載したほうがよい。リンクボタンが画面を上下に分断しているので、画面を横に広く使ったほうがよい。広告掲載は上か下か1箇所に合わせて配置したほうがよい。	4	1	2	-	3 参考意見と捉えるもの	ホームページについては、平成22年11月にリニューアルする予定なのでその際の参考とする。
2	永田委員	「首都圏新空港」を入れるメリットは何か、また、入れるとすれば、どのような観点からの位置づけとなるのか。	4	1	1	2	3 参考意見と捉えるもの	実現の可能性なども踏まえて施策を検討する際に記載するかどうか検討する。
3	室町副座長	「首都圏新空港」を入れると、計画自体のアカウンタビリティを下げってしまう恐れがある。ここ20年間で力を入れるつもりが現実としてないのであれば、落としたほうがよい。	4	1	1	2	3 参考意見と捉えるもの	実現の可能性なども踏まえて施策を検討する際に記載するかどうか検討する。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
4	鳥居委員	首都圏第三空港に固執するのではなく、京浜急行などの交通アクセスの良さを活かし、羽田国際化に対応してどのように人を呼び込むのか盛り込む必要がある。	4	1	1	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	羽田空港の再拡張について、素案では「第1章 社会経済環境の変化と横須賀の基礎的な課題」の「4 地域経済への期待」(7ページ)で、「現在進められている羽田空港再拡張など周辺環境の変化を企業や観光客の誘致の観点から好機として確実に捉えていかなければなりません。」としており、課題として捉えている。ご指摘の点は施策の検討の際に参考とする。
5	細野座長	羽田空港から海のタクシーのような新交通を誘致してはどうか。羽田空港の再拡張を横須賀のために使うという積極的な姿勢で検討した方がよい。	4	1	1	2	3 参考意見と捉えるもの	今後研究する。
6	室町副座長	横須賀市民は、成田空港にどのような交通手段を用いて移動しているのか。	4	1	1	2	5 質問事項と捉えるもの	成田空港までは、自動車、電車、リムジンバスなど様々な交通手段がある。
7	室町副座長	ホームページの外国語対応はどのようにになっているのか。	4	1	2	-	5 質問事項と捉えるもの	ホームページの一部は英語・中国語・韓国語・フランス語に対応している。また、英語・中国語・韓国語・欧州5ヶ国語(フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語)に自動翻訳できるようになっている。
8	室町副座長	外国人や観光客、ビジネス客などを対象として、羽田の国際化も含めて、横須賀にどのようにすれば足を運んでもらえるかが検討のポイントである。	4	1	1	2	3 参考意見と捉えるもの	今後研究する。
9	小野間委員	「陸と海に広がる総合的なネットワークづくり」は、これまでの「海に広がるネットワークづくり」「陸に広がるネットワークづくり」を大きな視点でまとめており方向としてよい。	4	1	3	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
10	小野間委員	神奈川県では、三浦半島を縦断する三浦半島中央道路の整備を進めているが、市街地を連絡する市道の整備促進も重要なので、小柱となる具体的な施策の部分に入れてほしい。	4	1	3	2	3 参考意見と捉えるもの	ご指摘のとおり「1-3 陸と海に広がる総合的なネットワークづくり」の中柱では、広域幹線道路の整備促進などを捉えており、市道の整備については、「5-3-3 道路・交通環境の整備」の小柱で捉えている。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
11	西原委員	今後、人を呼び込むためには、(大型バスなどの)駐車場不足の解消が大きな問題である。	4	1	1	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	「1-1 人を呼び込む環境づくり」では、地域資源を生かした魅力づくりと魅力ある交流拠点の創出を位置付けており、集客に積極的に取り組むこととしている。ご指摘の点は施策の検討の際に参考とする。
12	西原委員	市内の町内会・自治会は、加入世帯数・立地(山間部から海岸部)も様々で、意見を1つにまとめることはなかなか難しく、環境問題や交通問題など分野によっても、意見は異なる。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
13	鳥居委員	現在住んでいる谷戸では、子育て世帯は数軒しかなく、周囲は高齢者ばかりで、誰を頼ってよいかわからず、災害時の不安も大きい。今後、谷戸地区に若い人を呼び込み、その若い人がどのように谷戸地区を支えるかが大事になってくる。また、住民同士で助け合う自治を考えることができればよいと思う。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	谷戸については、問題意識を持っており、平成21年度には、実態についてサンプル調査を行った。平成22年度も引き続き調査を実施することとしている。
14	細野座長	公助、共助、自助とあるが、住民自治においては、共助、公助が重要であり、根幹である。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
15	西原委員	過半数の町内会・自治会で、安全・安心のパトロール(防犯パトロール、子どもを見守るパトロール)の取り組みがみられる。自分たちのまちは自分たちで守ろうという意識があり、その効果が出ている。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
16	伊藤委員	若い人の流出をできるだけ抑制すると同時に、横須賀の気候の暖かさなど、年配の人に住みやすいまちを前面に出してPRしてはどうか。	4	1	1	1	3 参考意見と捉えるもの	都市活力維持のため、定住促進施策の主な対象は結婚・子育て世代と考えている。一方、素案「第3章 重点プログラム」の「根底にある基本的な戦略」(21ページ)のうち「戦略2 高齢者の活力が生かされる社会の実現」で、高齢者を都市活力の源泉と捉え、多くの高齢者が、当たり前のように、仕事や地域活動に参画する社会の実現に向けて、重点的に取り組む必要があるとしている。
17	永田委員	安全・安心に関する情報を、誰もが目を通すゴミのカレンダーと一緒につけてはどうか。資料をたくさんもらっても全てに目を通す時間もないので、最重要な資料の隅にでも、横須賀市がアピールしたい情報や、逆に市民から相談してほしい情報を掲載するスペースを確保できれば、広報活動や広聴活動、市民相談の充実につながる。具体的な取り組み内容として検討してほしい。	5	1	2	-	3 参考意見と捉えるもの	「ゴミと資源物の分別収集カレンダー」は掲載したい情報が多数ある中で、限られた紙面に最低限の情報を掲載しているため、スペースの確保が難しい。現在、小さなスペースだが、家庭の情報欄に利用するスペースを設けている。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
18	鳥居委員	日本各地で子育て支援が取り組まれている中で、横須賀市だからこそという取り組みが不足しているように思う。若い世代のみならず、お年寄りの方からの意見も聞きながら、何が足りないのか、また、忙しい子育て世代からも意見を聞けたらよい。	4	1	1	1	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
19	細野座長	域外から入ってくる人の目、域外へ出ていく人の目の両方の発言を追っていくことが必要である。	4	1	1	1	3 参考意見と捉えるもの	転入者も含めたファーストマイホーム応援制度やスイートホーム応援制度の利用者を対象にアンケートを行っている。 また、今年度は転出手続きの際に転出者アンケートを行った。
20	永田委員	横須賀市がいかにか機動的で効率的な組織を作ろうとしているのか、「柔軟な組織・執行体制づくり」「情報システムによる行政の効率化」という表現だけでは見えにくい。	5	2	1	-	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	柔軟な組織づくりは課題として認識している。ご指摘の点は施策の検討の際に参考とする。
21	細野座長	住民と行政で、効率的な行政づくりに対する考え方はギャップがある。行政がやるべきことと市民がやるべきことの仕分けを行政と市民が一緒に行うのが市民協働だ。	5	2	1	-	3 参考意見と捉えるもの	「推進姿勢1-3-2 協働による取り組みの推進」の小柱で、多様な主体と行政との役割分担について捉えている。
22	室町副座長	今後、規模の大きな町内会はコミュニティを活かして持続可能かもしれないが、小さな町内会の中には難しい町内会もあると思われる。後者については、市役所も一緒に知恵を出していきましょうという部分も記述した方がよい。	5	3	1	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	ご指摘の点は施策の検討の際に参考とする。
23	細野座長	近隣大学とタイアップして、空き家が増えつつある住宅団地において、学生によるシェアリング居住に対して経済的なインセンティブをつけるのは有効な方策である。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	市内の特定の地区である大学が調査を行ったことがあるが、コンビニエンスストアがない、バスが不便、などの理由で大学生が住むのは難しいとの結果が出た。 また、学生が高齢者宅に同居(下宿)して見守りを行うことを前提とした別の大学による別の地区での調査でも良い結果は出なかった。
24	小野間委員	横須賀市は中核市であり、より一層市民ニーズに応える市政を進めるとともに、近隣市町との広域連携を進め、権限移譲の促進や行財政の強化を目指してもらいたい。	5	3	1	1	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
25	小野間委員	「区域を越えた広域の行政需要や～」は、「区域」ではなく、「市域」ではないか。また、「国、県、市町村との交流と連携～」の「交流」は焦点がぼやけるので、「国、県、市町村との連携～」にした方がよい。	5	3	2	1	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	ご指摘のとおり、「区域」は「市域」に、また、交流は削除する方向で検討する。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
26	永田委員	高齢化が進む地区が複数あるのであれば、地区ごとに異なる方策を実験し、それぞれの効果を検証してみようか。「効率的な都市経営の推進」の中に「社会実験の推進」を入れてほしい。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	施策をモデル的に一部の地域で行い、うまくいけば全体へ広げるなどの手法は考えられるが、異なる取組みを同時に行うことは難しい。
27	細野座長	実験という表現は変えた方が良くかもしれませんが、新しい試みのための仕組みづくりは重要である。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	施策をモデル的に一部の地域で行い、うまくいけば全体へ広げるなどの手法は考えられるが、異なる取組みを同時に行うことは難しい。
28	鳥居委員	子育てに専念しているお母さんにも、英語に堪能な方など優秀な方が多くいる。能力を持った潜在的な市民を発掘する仕組みがあればよい。ファミリーサポートセンターをもっと発展させる形で、お母さん方もいきいきと住みやすいまちになるように考えてほしい。	5	3	1	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	ファミリーサポートセンターなどの子育て支援施策は「3-1-1 子どもを産み育てやすい環境づくり」で捉えている。ご指摘の点は施策の検討の際に参考とする。
29	細野座長	審議会にも公募委員をもっと多く入れるとよい。	5	1	3	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
30	伊藤委員	市の内部からも変わるということを市民にアピールするため、民間との人事交流を入れてはどうか。	5	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	民間企業等への派遣については、新規採用職員(平成21年度は73名)の市内特別養護老人ホームへの派遣研修、主任級職員(平成21年度は2名)の市内民間企業への派遣研修を実施している。 また、民間企業等からの受け入れについては、本市経済部において平成22年3月～6月まで1名の受け入れを実施している。
31	西原委員	末端行政を担っている町内会・自治会の活動は、原則として無報酬なので、町内会等自体に対する補助金・交付金をもう少し手厚くしてほしいと言っている。行政協力をするという意味では、市との協働はうまくいっている。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	町内会・自治会への支援は「4-5-1 コミュニティへの支援」で捉えている。
32	西原委員	町内会への加入率を高めることは課題だが、大変難しい問題である。	5	3	1	2	3 参考意見と捉えるもの	町内会・自治会への支援は「4-5-1 コミュニティへの支援」で捉えている。
33	室町副座長	一般市民から見ると敷居が高いNPOまでいかないまでも、専業主婦による活動や実験的な活動など、ニーズベースの5～10人による活動に対応できる仕組みがあるとよい。	5	1	3	1	3 参考意見と捉えるもの	市民活動サポートセンターでは、公益活動団体であれば、法人でなくても支援の対象となる。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
34	細野座長	市民が主体となって自分たちのまちのあり方を決め、人・もの・金を融通しあう制度づくりを様々な例をみながら検討してはどうか。	5	3	1	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	平成22年度から(仮称)地域運営協議会の設置に向けての検討や、自治基本条例の制定に向けての検討を行うこととしている。
35	細野座長	地縁に基づくコミュニティ(縦系)と、テーマに基づくコミュニティ(横系)を上手く紡いで、横須賀らしい住民自治の制度化を考える必要がある。	5	3	1	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	平成22年度から(仮称)地域運営協議会の設置に向けての検討や、自治基本条例の制定に向けての検討を行うこととしている。